

平成19年度
(2007年度)

港区予算概要

一般会計
国民健康保険事業会計
老人保健医療会計
介護保険会計

港区

<新規・臨時・レベルアップの説明>

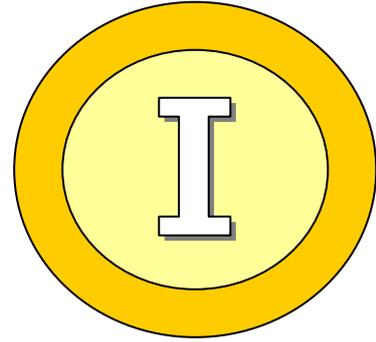
- ①新規 19年度から新たに行う事業
- ②臨時(新規) 19年度から新たに行う臨時的な事業(※)
- ③臨時(継続) 18年度以前から行っている臨時的な事業(※)
※単年度または数年度に限り臨時的に行う事業
- ④レベルアップ 18年度以前から行っている事業で内容を充実・拡大する事業

- ・ 計数については、原則として表示単位未満を四捨五入し、端数整理をしていないため、合計等と一致しない場合があります。

目 次

I 平成 19 年度予算の概要	1
1 平成 19 年度予算の概要(全体像)	2
2 最重点施策の取組み	4
3 後期基本計画事業の着実な実施	11
4 将来を見据えた財政運営	12
(1) 区財政の状況	12
(2) 基金の有効活用	13
(3) 総合支所の地域特性を生かす予算編成	14
II 最重点施策	15
1 区民の安全・安心確保	16
(1) 区民生活の安全を守る	16
(2) 災害に強いまち	17
(3) 区有施設の安全確保	20
2 都心区ならではの地域の魅力を発揮する施策の展開	22
(1) 区民とともに築き上げる地域の魅力	22
(2) 都心区ならではの環境対策	25
(3) 都心区にふさわしい元気な地域経済活動の支援	26
(4) 都心区の魅力と伝統に富んだ文化芸術が身近にあるまち	28
3 区民の誰もが健やかに暮らせるまち	30
(1) 安心できる「子育て」と「子育て」環境の整備	30
(2) 子どもたちが輝く教育環境の整備	31
(3) 潤いと豊かさに囲まれる高齢者や障害者等の環境の整備	33
(4) 区民の心と身体への健康づくり	35
III 財政規模	37
1 総 括	38
2 一般会計	39
(1) 歳 入	39
(2) 目的別歳出	40
(3) 性質別歳出	41

3 国民健康保険事業会計	42
4 老人保健医療会計	43
5 介護保険会計	44
IV 参考資料	45
1 新規事業	46
2 臨時事業(新規)	52
3 臨時事業(継続)	57
4 レベルアップ事業	64
5 新規補助金一覧	68
6 平成19年度開設予定施設等一覧	69
7 平成19年度予算編成方針	70



平成 19 年度
予 算 の 概 要

平成19年度予算の概要(全体像)

『より区民に身近な区財政を目指し、
区民とともに築き上げる予算』

予算編成の基本方針

- 地域の課題を地域で解決するしくみを着実なものとするとともに、地域特性を踏まえ、地域ニーズを的確に把握した上で、区民の視点による新たな独自の施策に積極的に取り組み、港区ならではの質の高い行政サービスを提供します。
- 港区基本計画計上事業を着実に予算化するとともに、「重点的に取り組む10の課題」に積極的に取り組みます。
- 区民が、各種の行政サービス及び公共施設を安全に安心して利用できるための対策については、特に最優先事項として取り組みます。
- 将来のいかなる社会経済状況の変化にも柔軟に対応し、港区らしい施策を積極的に継続して推進することが求められています。そのためには「最少の経費で最大の効果」の基本原則を踏まえ、区民の視点で施策の徹底した見直しを図るとともに、人件費の圧縮、経常的経費の節減などの不断の内部努力を徹底します。

後期基本計画事業の着実な実施

◇かがやくまち（街づくり・環境）	33事業	153億4,206万円
◇にぎわうまち（コミュニティ・産業）	17事業	7億2,652万円
◇はぐくむまち（福祉・保健・教育）	38事業	73億7,233万円
◇実現をめざして	6事業	57億5,805万円
計	94事業	291億9,896万円

将来を見据えた財政運営

財政運営方針の示す「より区民に身近な区財政の構築」をめざし、地域特性に応じた独自の施策や都心区特有の課題に応え、港区ならではの質の高い行政サービスを提供していくため、いかなる社会情勢の変化にも耐えうる弾力的な財政構造を維持します。

《基金の有効活用》

安全安心施設対策基金、文化芸術振興基金の創設
施設整備への積極的な活用

《総合支所の地域特性を生かす予算編成》

各地区総合支所の地域特性に応じた独自事業の創設

総額
1,505億
3,374万円

一般会計
1,077億円

新規事業数	58
臨時事業数 (うち新規) (〃 継続)	123 (49) (74)
レベルアップ事業数	41

国民健康保険
事業会計
194億
2,526万円

老人保健
医療会計
132億
8,379万円

介護保険
会 計
101億
2,469万円

最重点施策

平成19年度予算のポイント

1 区民の安全・安心確保

(1) 区民生活の安全を守る

- 青色回転灯装備車両による夜間パトロールの実施 ・ 悪質商法被害防止
- 住宅用火災警報器設置助成 ・ 放置自転車対策の充実 ・ 建築確認審査の充実
- 交通バリアフリー基本構想策定 ・ 私立幼稚園安全安心支援

(2) 災害に強いまち

- 災対各地区本部の設置 ・ マンホールトイレの整備 ・ 公園の整備
- 地域災害情報システムの整備 ・ 雨水浸透による都市型水害対策の推進
- 耐震改修促進計画策定 ・ 都市計画道路の整備 ・ 電線類の地中化の推進

(3) 区有施設の安全確保

- 安全安心施設対策基金の創設 ・ シティハイツ竹芝エレベーター事故調査
- 区有施設の緊急安全点検に基づく補修等(第2期) ・ 区有施設安全管理講習会
- 学校・幼稚園等の耐震補強 ・ 防火シャッター安全装置設置

5頁
・
16頁
参照

2 都心区ならではの地域の魅力を発揮する施策の展開

(1) 区民とともに築き上げる地域の魅力

- 各地区総合支所独自事業 ・ 各地区基本計画推進事業
- 各地区総合支所まちづくり相談・まちづくりコンサルタント派遣
- 青山通り沿道の街づくり ・ 芝地区地域ふれあい事業

(2) 都心区ならではの環境対策

- みなと区民の森づくり ・ 港区役所本庁舎屋上・壁面緑化 ・ 環境影響評価
- 森と里山、水辺と運河をつなぐネットワークづくり・プラスチック資源回収
- エコプラザ本格施設開設 ・ 一般廃棄物処理基本計画策定

(3) 都心区にふさわしい元気な地域経済活動の支援

- 商店街の新たな魅力づくり事業 ・ 商店街変身戦略プログラム
- 老舗・お薦めの店100選 ・ 国内外への観光情報提供 ・ 地域商店街助成
- 知的財産活用支援 ・ ISO・プライバシーマーク取得支援 ・ 一般就労支援

(4) 都心区の魅力と伝統に富んだ文化芸術が身近にあるまち

- 文化芸術振興基金の創設 ・ 港区文化芸術活動助成 ・ みなとギャラリー
- 港区文化ネットワーク ・ IT図書館の実現 ・ まち探訪事業

7頁
・
22頁
参照

3 区民の誰もが健やかに暮らせるまち

(1) 安心できる「子育て」と「子育て」環境の整備

- 地域在宅子育て支援制度 ・ 待機児童解消特別事業 ・ 放課後児童育成事業
- 仮称芝五丁目子育て支援施設整備 ・ 特定不妊治療費助成 ・ 病児・病後児保育
- 子ども中高生プラザ建設(新港南・芝地区・高輪地区) ・ グッドトイ・みなと

(2) 子どもたちが輝く教育環境の整備

- 港区教育推進月間 ・ 学力向上事業 ・ 国際人育成事業 ・ 土曜特別講座
- 魅力ある校舎・園舎等の整備 ・ 小中学校学校図書館の充実
- 特別支援教育の推進 ・ 区立幼稚園及び保育園等の絵本の充実

(3) 潤いと豊かさに囲まれる高齢者や障害者等の環境の整備

- 仮称南麻布四丁目高齢者保健福祉施設整備 ・ 港区高齢者大学
- 高齢者・障害者(児)紙おむつ給付 ・ 高齢者・障害者(児)無料入浴券給付
- 障害者インターンシップ事業 ・ コミュニティバス福祉事業

(4) 区民の心と身体健康づくり

- 緩和ケア対策 ・ 高齢者インフルエンザ予防接種事業
- 屋外型スポーツ施設整備 ・ 総合型地域スポーツクラブ設立

9頁
・
30頁
参照

2 最重点施策の取組み

区は、区民に信頼され、区民の身近にあって、区民の誇りを創造する区政運営を推進することを基本姿勢と位置づけ、『区民の誰もが誇りに思えるまち・港区』の実現を目指しています。

平成 19 年度予算では、特に早急に取り組む必要がある施策として「区民の安全・安心確保」、「都心区ならではの地域の魅力を発揮する施策の展開」、「区民の誰もが健やかに暮らせるまち」の 3 つの施策を最重点施策と位置づけ、積極的に予算化しました。

○ 平成 19 年度最重点施策

施 策 名	事業数	予算額
I 区民の安全・安心確保	29 事業	143 億 2,815 万円
1 区民生活の安全を守る	10 事業	3 億 830 万円
2 災害に強いまち	12 事業	101 億 7,152 万円
3 区有施設の安全確保	7 事業	38 億 4,833 万円
II 都心区ならではの地域の魅力を発揮する施策の展開	33 事業	33 億 7,282 万円
1 区民とともに築き上げる地域の魅力	9 事業	1 億 6,014 万円
2 都心区ならではの環境対策	7 事業	4 億 9,066 万円
3 都心区にふさわしい元気な地域経済活動の支援	8 事業	2 億 9,632 万円
4 都心区の魅力と伝統に富んだ文化芸術が身近にあるまち	9 事業	24 億 2,570 万円
III 区民の誰もが健やかに暮らせるまち	42 事業	64 億 8,449 万円
1 安心できる「子育て」と「子育て」環境の整備	11 事業	8 億 704 万円
2 子どもたちが輝く教育環境の整備	10 事業	43 億 6,731 万円
3 潤いと豊かさに囲まれる高齢者や障害者等の環境の整備	15 事業	9 億 7,124 万円
4 区民の心と身体の健康づくり	6 事業	3 億 3,890 万円
合 計	104 事業	241 億 8,546 万円

＜ 最重点施策 ＞

I 区民の安全・安心確保

143 億 2,815 万円

区は、区民の安全・安心を確保する区政を実現するため、すべての事務事業の実施にあたり、「区民の安全・安心確保」に係る対策を、区が早急に取り組むべき最優先課題として取り組みます。

(1) 区民生活の安全を守る (16~17 頁)

3 億 830 万円

青色回転灯装備車両による夜間パトロールの実施 (新規)	4,009 万円
住宅用火災警報器設置助成 (新規)	250 万円
防犯カメラ維持管理費補助 (新規)	245 万円
公益通報者保護 (新規)	150 万円
悪質商法被害防止 (臨時(新規))	312 万円

私立幼稚園安全安心支援 (臨時(新規))	1,260 万円
放置自転車対策の充実 (新規(臨時(新規)) (臨時(継続))	1 億 7,252 万円
交通バリアフリー基本構想策定 (臨時(継続))	883 万円
子ども及び高齢者の施設への防犯用品の配備 (レベルアップ)	94 万円
建築確認審査の充実 (レベルアップ)	6,375 万円

(2) 災害に強いまち (17~20 頁)

101 億 7,152 万円

災害各地区本部の設置 (新規)	2,985 万円
耐震改修促進計画策定 (新規)	903 万円
災害用衛星携帯電話の導入 (臨時(新規))	376 万円
マンホールトイレの整備 (臨時(新規))	2,719 万円
都市計画道路の整備 (臨時(新規)) (臨時(継続))	44 億 7,248 万円
災害対策本部運営マニュアル策定 (臨時(継続))	1,237 万円

地域災害情報システムの整備 (臨時(継続))	14 億 5,629 万円
公園の整備 (臨時(継続))	28 億 9,066 万円
橋りょうの整備 (臨時(継続))	2 億 719 万円
細街路の整備検討 (臨時(継続))	154 万円
雨水浸透による都市型水害対策の推進 (臨時(継続))	9,435 万円
電線類の地中化の推進 (臨時(継続))	9 億 6,681 万円

(3) 区有施設的安全確保 (20~21 頁)

38 億 4,833 万円

区有施設安全管理講習会 (新規)	300 万円
安全安心施設対策基金の創設 (臨時(新規))	30 億円
シティハイツ竹芝エレベーター事故調査 (臨時(新規))	2 億円
区有施設の緊急安全点検に基づく補修等(第2期) (臨時(継続))	2 億 3,934 万円

区有施設アスベスト対策 (臨時(継続))	7,550 万円
学校・幼稚園等の耐震補強 (臨時(継続))	1 億 331 万円
防火シャッター安全装置設置 (レベルアップ)	2 億 2,718 万円

II 都心区ならではの地域の魅力を発揮する施策の展開

33億7,282万円

地域の特性を生かしつつ、都心区にふさわしい風格と地球環境に配慮したまちづくりを進め、住み・働き・学び・憩う人々が集う場として、地域の魅力が存分に発揮される施策を展開します。

(1) 区民とともに築き上げる地域の魅力 (22~25頁)

1億6,014万円

芝地区総合支所独自事業 (新規)	1,965万円
麻布地区総合支所独自事業 (新規)	1,834万円
赤坂地区総合支所独自事業 (新規)	2,000万円
高輪地区総合支所独自事業 (新規)	1,957万円
芝浦港南地区総合支所独自事業 (新規)	1,999万円

芝地区地域ふれあい事業 (新規)	571万円
青山通り沿道の街づくり (新規)	984万円
各地区総合支所まちづくり相談・まちづくりコンサルタント派遣 (臨時(継続))	1,980万円
各地区基本計画推進事業 (臨時(継続))	2,724万円

(2) 都心区ならではの環境対策 (25~26頁)

4億9,066万円

みなと区民の森づくり (新規)	1億9,024万円
森と里山、水辺と運河をつなぐネットワークづくり (新規)	1,106万円
一般廃棄物処理基本計画策定 (臨時(新規))	945万円
プラスチック資源回収 (臨時(新規))	1億3,326万円

エコプラザ本格施設開設 (臨時(新規))	9,091万円
港区役所本庁舎屋上・壁面緑化 (臨時(新規))	3,466万円
環境影響評価 (レベルアップ)	2,108万円

(3) 都心区にふさわしい元気な地域経済活動の支援 (26~28 頁)

2 億 9,632 万円

一般就労支援 (新規)	249 万円	老舗・お薦めの店100選 (臨時(新規))	400 万円
知的財産活用支援 (新規)	185 万円	ISO・プライバシーマーク 取得支援 (レベルアップ)	500 万円
商店街の新たな魅力づくり事業 (臨時(新規))	1,050 万円	地域商店街助成 (レベルアップ)	1,465 万円
国内外への観光情報提供 (臨時(新規))	428 万円	商店街変身戦略プログラム (レベルアップ)	2 億 5,355 万円

(4) 都心区の魅力と伝統に富んだ文化芸術が身近にあるまち (28~29 頁)

24 億 2,570 万円

港区文化芸術活動助成 (新規)	2,072 万円	IT図書館の実現 (臨時(継続))	2 億 8,731 万円
子どもふれあいアート (新規)	296 万円	新郷土資料館設置 (臨時(継続))	3,583 万円
学生音楽フェスティバル (新規)	745 万円	港区文化ネットワーク (レベルアップ)	1,167 万円
みなとギャラリー (新規)	1,344 万円	まち探訪事業 (レベルアップ)	4,632 万円
文化芸術振興基金の創設 (臨時(新規))	20 億円		

Ⅲ 区民の誰もが健やかに暮らせるまち

64 億 8,449 万円

超高齢社会を迎える中で、高齢者も若い世代の人も、障害のある人もない人も、誰もがいきいきと健やかに暮らせる港区を実現します。

(1) 安心できる「子育て」と「子育て」環境の整備 (30~31 頁)

8 億 704 万円

特定不妊治療費助成 (新規)	1,233 万円
地域在宅子育て支援制度 (新規)	116 万円
仮称芝五丁目子育て支援施設整備 (新規)	715 万円
芝地区子ども中高生プラザ等建設 (臨時(新規))	2,045 万円
グッドトイ・みなど (臨時(新規))	1,350 万円
待機児童解消特別事業 (臨時(新規))	1 億 4,703 万円

子育て支援ニーズ調査 (臨時(新規))	335 万円
新港南子ども中高生プラザ建設 (臨時(新規))	4,621 万円
高輪地区子ども中高生プラザ建設 (臨時(継続))	2 億 3,165 万円
病児・病後児保育 (レベルアップ)	1 億 1,354 万円
放課後児童育成事業 (レベルアップ)	2 億 1,067 万円

(2) 子どもたちが輝く教育環境の整備 (31~32 頁)

43 億 6,731 万円

港区教育推進月間 (新規)	300 万円
魅力ある校舎・園舎等の整備 (臨時(新規))	35 億 1,850 万円
小中学校学校図書館の充実 (臨時(継続))	1 億 3,700 万円
区立幼稚園及び保育園等の絵本の充実 (臨時(継続))	326 万円
奨学資金貸付 (レベルアップ)	6,945 万円

学習活動支援保護者負担軽減事業 (レベルアップ)	8,728 万円
学力向上事業 (レベルアップ)	2 億 231 万円
土曜特別講座 (レベルアップ)	6,581 万円
特別支援教育の推進 (レベルアップ)	6,291 万円
国際人育成事業 (レベルアップ)	2 億 1,779 万円

(3) 潤いと豊かさに囲まれる高齢者や障害者等の環境の整備 (33~34 頁)

9 億 7,124 万円

大学連携チャレンジ (新規)	232 万円
港区高齢者大学(チャレンジコミュニティ大学) (新規)	2,157 万円
高齢者孤独死対策 (新規)	171 万円
障害者インターンシップ事業 (新規)	753 万円
特別養護老人ホーム白金の森改修 (臨時(新規))	1 億 4,546 万円
高輪福祉会館等改築 (臨時(継続))	1 億 2,579 万円
団塊の世代等に関する計画策定 (臨時(継続))	1,148 万円
仮称南麻布四丁目高齢者保健福祉施設整備 (臨時(継続))	3 億 3,081 万円

高齢者・知的障害者(児)徘徊探索支援 (レベルアップ)	449 万円
高齢者・障害者(児)紙おむつ給付 (レベルアップ)	1 億 4,295 万円
高齢者・障害者(児)無料入浴券給付 (レベルアップ)	9,582 万円
高齢者虐待防止・養護者支援事業 (レベルアップ)	434 万円
高齢者緊急通報システム (レベルアップ)	1,985 万円
コミュニティバス福祉事業 (レベルアップ)	3,156 万円
知的障害者等グループホーム支援 (レベルアップ)	2,556 万円

(4) 区民の心と身体健康づくり (35 頁)

3 億 3,890 万円

緩和ケア対策 (新規)	352 万円
屋外型スポーツ施設整備 (臨時(新規))	2 億 42 万円
総合型地域スポーツクラブ設立 (臨時(継続))	378 万円

エイズ・性感染症等予防事業 (レベルアップ)	1,416 万円
高齢者インフルエンザ予防接種事業 (レベルアップ)	9,949 万円
健康みなと21推進事業 (レベルアップ)	1,753 万円

3 後期基本計画事業の着実な実施

港区基本計画（後期3年：18～20年度）を確実に実現するため、計画計上事業の着実な実施に向けた質の高い行政サービスを提供する予算措置を行いました。

○ 平成19年度実施計画事業

各分野別の施策を、下記のとおり予算化しました。

基本計画上の位置づけ		事業数	事業費(千円)	
I かがやくまち	都心の活力と安全・安心・快適な暮らしを支えるまちをつくる	新規	2	1,506,090
		継続	22	12,452,766
	環境にやさしい都心をみなで考えつくる	新規	—	—
		継続	9	1,383,200
合 計		33	15,342,056	
II にぎわうまち	地域の課題を自ら解決できるコミュニティをつくる	新規	—	—
		継続	4	27,973
	港区からブランド性ある産業・文化を発信する	新規	1	4,000
		継続	12	694,551
合 計		17	726,524	
III はぐくむまち	明日の港区を支える子どもたちを育む	新規	—	—
		継続	13	4,627,218
	生涯を通じた心ゆたかで健康な都心居住を支援する	新規	2	2,020,721
		継続	23	724,393
合 計		38	7,372,332	
実現をめざして	基本構想に基づく諸施策の実効性を担保する	新規	—	—
		継続	1	30,314
	行財政改革を推進する	新規	—	—
		継続	5	5,727,736
合 計		6	5,758,050	
総 合 計		94	29,198,962	

4 将来を見据えた財政運営

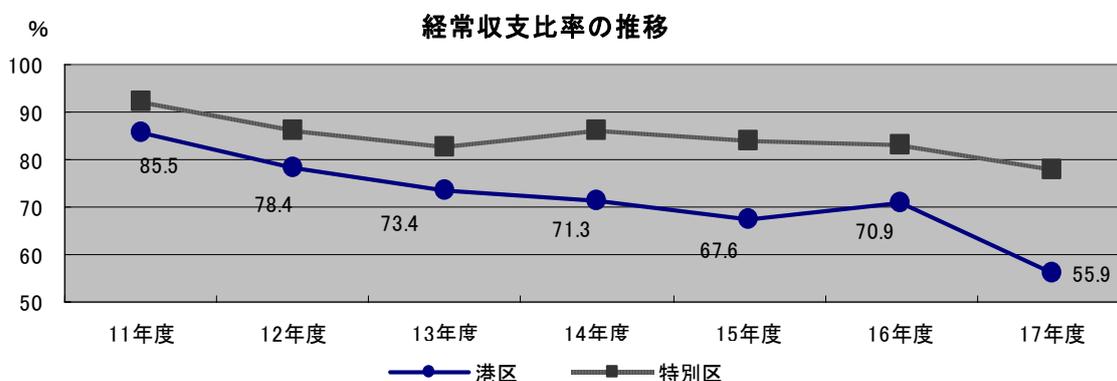
(1) 区財政の状況

区は、バブル経済崩壊後、平成9年1月に「財政構造改革指針」を策定し、他の自治体に先駆けて財政の健全化に取り組んできました。さらに、11年12月に策定した「港区財政運営方針」が掲げる取組みの成果や人口の増加等による特別区民税収入の好調な伸びにより、財政の弾力性が高まるなど財政指標は大きく改善しました。一方、国の三位一体改革の税源移譲にともなう個人住民税所得割税率のフラット化は、港区においては特別区民税収入の減少を招く結果となり、区財政を圧迫する要因となっています。

区は、このような状況にあっても、多様なニーズに的確に対応し、質の高い行政サービスを安定的に提供するため、磐石な財政基盤を確立し、維持していく必要があります。そこで、区は、今後の財政運営のあり方を定めた新たな財政運営方針を策定し、今後増大する財政需要などに引続き積極的に取り組んでいきます。

○ 経常収支比率の推移

財政の弾力性をあらわす経常収支比率は、70～80%が適正な水準といわれており、区の経常収支比率は、平成12年度から6年続けて良好な状態を維持しています。



○ 三位一体改革による港区の影響と対応

国の三位一体改革により個人住民税所得割の税率を10%に統一することで、旧税率と新税率による単純比較で、平成19年度は18年度に比べ約130億円の減収が見込まれます。しかし一方、近年の人口増加等による特別区民税の好調な伸びも見込み、19年度当初予算は、18年度当初予算比較で37億円の減としました。

また、三位一体改革に伴う影響への対応として、都区の協議により、港区に対しては、都区財政調整制度の特別交付金が、19年度から暫定的に交付されることになりました。

(2) 基金の有効活用

平成19年度は、シティハイツ竹芝において発生した痛ましい事故を風化させてはならない尊い教訓として、区民の安全・安心を最優先に守るため、安全安心施設対策基金を創設します。

また、区民が文化・芸術に親しみ、新しい文化を創造する環境を醸成するため、文化芸術振興基金を創設します。

さらに、安定した財政運営を行うため、福社会館等の改築や学校の建設などの施設整備に公共施設整備基金や教育施設整備基金を積極的に活用します。

今後は、基金をより有効に活用していくため、区民参画による基金の活用や地域との協働の支援に向けた活用について検討を進めていきます。

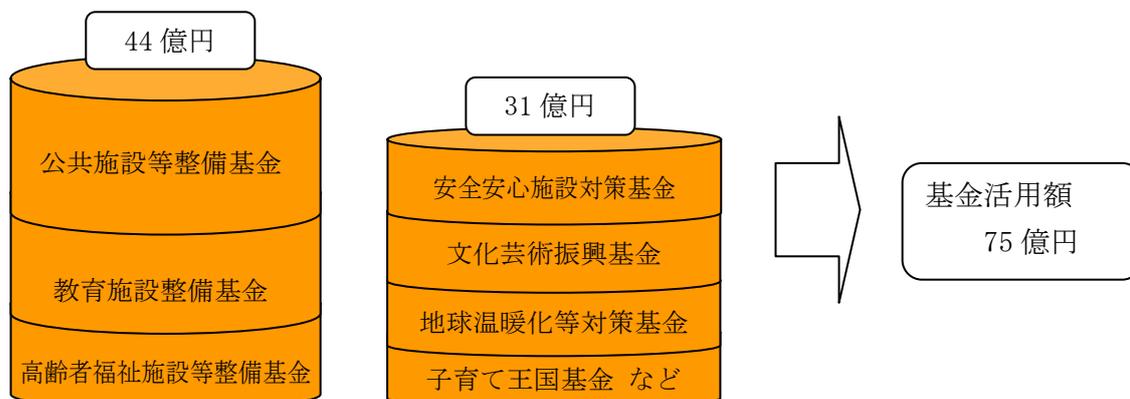
○ 新たな基金の創設（2基金）

区民の安全・安心を最優先に守るとともに、区民が文化・芸術に親しみ、新しい文化を創造する環境を醸成するため、新たに2基金を創設します。

基金名	積立額	設置目的と主な充当事業
安全安心施設対策基金	30億円	シティハイツ竹芝エレベーター事故の原因究明及び再発防止を図るとともに、区有施設の安全・安心を確保するための取組みを緊急かつ重点的に推進します。 [主な充当事業] ・シティハイツ竹芝エレベーター事故調査 ・区有施設の緊急安全点検に基づく補修等（第2期）
文化芸術振興基金	20億円	区民が、文化・芸術に親しみ、新しい文化を創造するための環境の醸成を図る観点から、さまざまな文化芸術活動を支援するための助成を行います。 [主な充当事業] ・港区文化芸術活動助成 ・みなとギャラリー

○ 基金の有効活用

社会基盤の整備など一時的に多額の資金を必要とする際に安定した財政運営を行うとともに、区民ニーズに柔軟に対応するため基金を積極的に活用します。



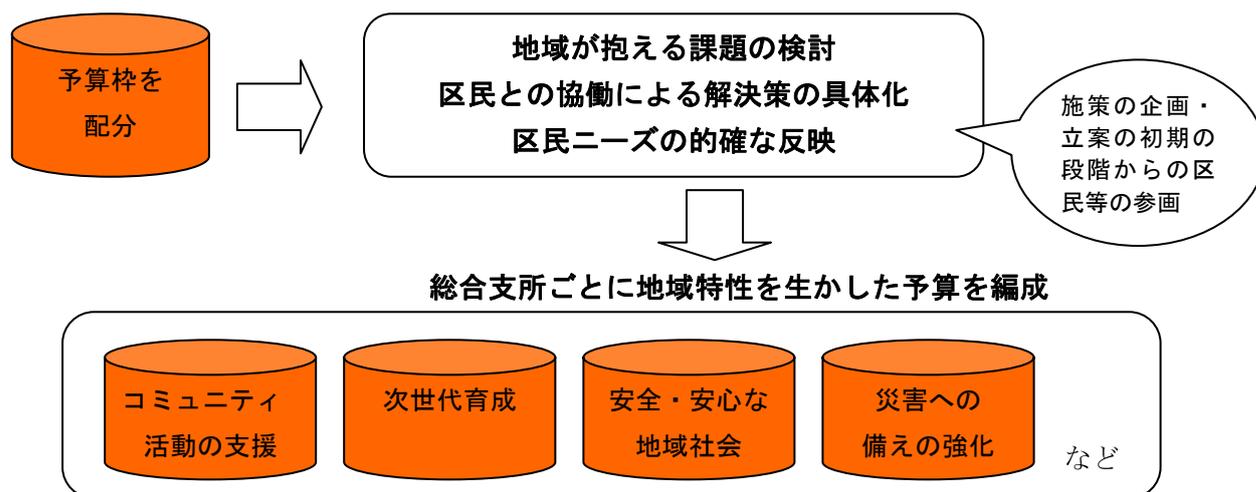
(3) 総合支所の地域特性を生かす予算編成

平成 18 年 4 月、区役所・支所改革により、港区は区内 5 地域に総合支所を設置しました。

総合支所を地域の拠点として、区民に身近な場所で地域特性に応じた多様なサービスを提供するとともに、区民の主体的な取組みを推進するため、総合支所に新たな予算編成手法を導入します。

○ 総合支所の裁量による予算の編成

総合支所ごとに一定の基準に基づいて予算枠を配分し、区民と区がともに企画・立案し、地域特性を生かした予算を編成します。



○ 導入の時期

平成 19 年度は、総合支所の自主性を高めることを目的として、各地域の特性を生かした「独自事業」について予算枠を配分します。

「独自事業」の効果を検証するとともに導入に向けた課題を整理し、21 年度予算から総合支所に予算枠を配分する新たな予算編成手法を導入します。

○ 導入に向けた課題

総合支所の裁量による予算の編成にあたっては、支援部と総合支所の役割分担を踏まえた上で、配分する予算枠の基準を十分に検討する必要があります。

また、総合支所を支える支援部の予算の編成手法についても、あわせて検討を行います。